学年通信

『なかま』

四日市市立三滝中学校
第２学年 第２７号
2022.02.25

長く感じた学年末テストは、今日で終了です。ホッとした気持ちになっているでしょうね。よくわかります。今から先生たちは採点を行い、成績をつけていきます。３学期に出る成績は、１年間の取り組みを総合した成績となります。そしてこれが『２年生の成績』として、来年度の進路関係に使われます。自分たちに足りていないところはどこか、得意なことは何かをよく分析し、今後の学習につなげていきましょう。

☆重要☆『来年度修学旅行について』

現在行っている平和学習は、修学旅行で広島へ行く前提で実施していました。しかし…現在の感染状況等を考え、また教育委員会からの指示(貸切バスで移動できる範囲＋感染リスクのできるだけ低い場所)もあり、修学旅行で広島を訪れるのは、断念せざるを得ない状況となってしまいました。現在三重県内で、宿泊先を確保したり、その他活動の計画を立てたりしています。このため、実施まで３か月を切った今、判断することになりました。

日程(予定)…５月 15 日(日)～17 日(火)

残念な判断となりましたが、受け入れるしかない現状です。ただ、これで終わりにはしたくない！というわけで、今後に向けての計画をお知らせします。現在行っている平和学習の一環として、**オンラインによる平和学習**を実施する予定です。

ＱＲコードを読み取ると、オンライン平和学習をお願いしている団体のＨＰが出てくるので、一度見てみてください。主に活動されている西村さんは、３年生の英語の教科書にも出てくる方です。今から準備する折り鶴は、広島へ送って、代わりに奉納してもらいます。詳しい計画などはこれからですが、みんなが考えた平和についての思いを、広島へ送りましょう。

今回と次回の通信には、今日の学年集会で発表してもらった各クラスの平和についての思いを載せます。気持ちを込めて、鶴を折っていきましょう。

１組

１組では、ビデオを見た感想や、平和にするにはどうするべきか、などを考えました。平和とは、「当たり前のように明日が来ること」「将来の夢を自由に果たせること」「生きたいように生きられる日常」などの意見が出ました。これらは普段、自分たちの生活は平和だということを意味するものでした。また「正直自分がその場にいなくてよかったと思ってしまった」「大人が戦争を起こしたのに、子どもが後回しにされるのはおかしい。「見ているだけで痛みが伝わってくる」などの意見が出ました。「何事も話し合って決められる世の中」「争いがなく、笑顔があふれること」「戦争がないことが平和」という意見もあり、平和にするには戦争でのできごとを忘れない、戦争でのできごとを伝えていくことが大切だと思いました。

２組

戦争のことを伝えていかなければならない、昔だけの問題ではないなど様々な意見が出ました。怖い・辛い・悲しいと半分以上の人が言っていた中で、言葉だけで片付けられる出来事ではないという意見が出ました。そしてこの意見は、クラス全体、学年全体で大切にしなければならないと考えました。また悲惨な戦争中や戦後の体験を、写真や映像資料でどのようにしたら確実に、危機感をもって伝えていけるかを考え、実行していかないといけないのではないかと思います。実際現代でも、兵器が行き交い、ミサイルが飛び交う戦争は、世界中で見れば珍しいことではありません。現代に起こってしまっている以上、戦争がない平和な世の中が当たり前の日常という考えでいるべきではないと思います。戦争の可能性を少しでも小さくするため、どのような状況でも戦争という手段は何の解決策にもならないという考えが、多くの人々の意識に浸透する必要があると思います。そのためにはさまざまな平和への取り組みを積極的に行っていく必要があるのではないかと思います。

学習している内容は、過去に起きたことです。現在、ロシア・ウクライナの状況が世界的に心配されています。世界で起こっていることにも目を向け、自分たちの過去⇒現在⇒未来について考えるきっかけとしてください。

※　３，４組の内容は、次号に載せます。